



問

谷川士清さんの反古塚は  
タイムカプセル

谷川士清さんのお墓と谷川神社の管理はどのようにされているのか。

また、谷川神社には津市指定文化財になっている反古塚があり、谷川士清さんが当時下書きをしたものなどが埋められているということである。中のものが朽ちてなくなっている可能性もあるが、見つければ大発見になると思う。発掘調査を行うてはどうか。

答

文化財保護の観点から発掘調査  
などは考えていない

墓の管理者は士清の菩提寺である福蔵寺で、現在は無住のため鈴鹿市の寺が管理している。国史跡に指定されているため、管理者から修繕の意向があれば、国・県・市の文化財保護事業補助金により支援し、適正な文化財保護に努めていく。谷川神社は、現在は無住のため市内の神社が管理し、日常の清掃等は地元の有志を中心に行われている。

文化庁が平成10年に発出した通知によると、地下に埋蔵されている文化財は可能な限り現状で保存することが望ましいとされており、反古塚については、文化財保護の観点から現状のまま保存すべきと考え、発掘調査などは考えていない。

その他の質疑・質問

- 熊らしきもの目撃情報について
  - クマアラートの発表について
- 地域懇談会と若者会議について
  - 今までどおりの地域懇談会の進め方でよいのか
  - 参加者を巻き込んだ地域懇談会の形が必要では
  - これからの津市のために求められる若者会議の形は

クマらしきものに対してアラートを出すのであれば住民の不安をあおらないよう対処を



問

「緑の風公園」のベンチの改修  
工事について問う

津市内には、市が管理する公園が639あり、様々な種類のベンチが設置されているため、老朽化した場合には、市が改修しなければならない。

久居駅の東にある「緑の風公園」には、いわゆるハチ公前に四角く囲った形状のベンチが6基あり、令和4年度に2基、令和5年度に2基の改修工事が行われているが、改修の理由、各年度の改修工事費用および積算方法は。

答

着座部を、景観を崩さず耐用年  
数が長い人工木材に交換した

当該ベンチは、公園利用者が休憩などに利用することを目的に設置したものである。

改修工事については、平成14年7月1日の供用開始から一度も交換や改修をしておらず、木製の着座部の老朽化が著しく、ささくれや割れなどが見受けられたことから、従来の景観を崩さず、かつ天然木材よりも耐用年数が長い人工木材を採用し、着座部のみ交換することとしたもので、請負金額は令和4年度が463万4,300円、令和5年度が466万7,300円である。

なお、積算方法については、三重県の積算基準に基づき積算している。

その他の質疑・質問

- 「マイナ保険証」について
  - マイナ保険証の利用状況について
  - マイナ保険証を使った救急活動の成果について
- 特定空家等の除却に係る略式代執行について
  - 所有者不明の特定空家等は何件あるか
  - 国、県による市への支援制度について
  - 除却後の土地について

「緑の風公園」の老朽化したベンチと改修したベンチ

